

佐世保工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	情報工学基礎演習
科目基礎情報						
科目番号	0003		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電気電子工学科		対象学年	1		
開設期	後期		週時間数	後期:2		
教科書/教材	情報リテラシー入門、適宜配付する資料、「高学年向け情報セキュリティ」教材（P P T）					
担当教員	高比良 秀彰					
到達目標						
1. パソコンの基本的使用法を理解し、実務に利用できる。 2. ワードプロセッサ、表計算、プレゼンテーションソフトウェアを使用できる。 3. インターネットやインターネット応用技術について概要を理解し、おおよそ説明できる。 4. I C Tに関するマナーや倫理、セキュリティについて理解し、これらを守るための行動が実践できる 5. タッチタイピングの意図を理解し、タッチタイピングができる						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1		パソコンの機能を活用できる	パソコンを支障なく使用できる	パソコンを使うことができない		
評価項目2		実務ソフトウェアを使いこなせる	実務ソフトウェアの存在意義を理解し、基本的な機能を使用できる	実務ソフトウェアを使用することができない		
評価項目3		インターネットサービスの仕組みを理解し、を実務に使うことができる	インターネットの仕組みについて説明できる	インターネットの仕組みについて説明できない		
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	I Tリテラシーを中核に情報処理、コンピュータ、タイピング技能について、実際にパソコンにふれながら学習する。					
授業の進め方・方法	予備知識： 講義室：I C T 授業形態：講義・演習・実習 学生が用意するもの：ノート、レポート用紙、U S Bメモリー					
注意点	評価方法：試験を30%、演習レポートの評価を40%、演習中の実技（取り組み態度を含む）を10%、タイピング能力を20%とし、1 0 0点満点中6 0点以上で合格とする。 自己学習の指針：予習として、テキストのテーマに沿った内容の部分に目を通しておくこと。 オフィスアワー：火曜と木曜の1 6：0 0～1 7：0 0。ただし、会議等により応じられない場合もある。					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス			
		2週	ネットワークとI T倫理リテラシー	情報の意味と情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を理解し活用できる インターネットの仕組みを理解している 個人情報とプライバシー保護の考え方について理解し、正しく実践できる		
		3週	電子メールの仕組みと使い方、マナーなど1	佐世保高専のI T環境を理解し、電子メールクライアントを利用できる 情報の意味と情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を理解し活用できる インターネットの仕組みを理解している パーソナルコンピュータの基本的な使用法を理解している		
		4週	電子メールの仕組みと使い方、マナーなど2	佐世保高専のI T環境を理解し、電子メールクライアントを利用できる 情報の意味と情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を理解し活用できる インターネットの仕組みを理解している パーソナルコンピュータの基本的な使用法を理解している		
		5週	コマンドオペレーション（G U I とC U I）1（共通教材P P T第5章）	コマンドプロンプトで基本的なコマンドを実行できる		
		6週	コマンドオペレーション（G U I とC U I）2（共通教材P P T第5章）	コマンドプロンプトで基本的なコマンドを実行できる		
		7週	テキストファイルとエディタの使用法	テキストファイルについて理解し、エディタを使って編集できる		
		8週	中間試験			
	4thQ	9週	タッチタイピング	タッチタイプの方法を理解し、自分に合った速度でタイプできる		
		10週	タッチタイピング試験			
		11週	ワードプロセッシングソフト	ワードプロセッサの機能について理解している		
		12週	ワードプロセッシングソフト	ワードプロセッサの基本的な機能を使用できる		
		13週	表計算ソフト	表計算ソフトの機能について理解している		
		14週	表計算ソフト	表計算ソフトの基本的な機能を使用できる		
		15週	プレゼンテーションソフト	プレゼンソフトの基本機能について理解している		
		16週	プレゼンテーションソフト	プレゼンソフトの基本機能を使用できる		
評価割合						
	レポート	実習態度	タイピング	試験	合計	

総合評価割合	40	10	20	30	100
基礎的能力	40	10	20	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0